

## 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表日 令和6年3月30日

事業所名 放課後等デイサービスカプリス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			学習や制作活動の療育室と、身体を動かせる運動専用の療育室とが完全に分かれており、どちらも十分な広さとスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			職員の基礎資格や経験など、全職員の一覧を玄関に掲示しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			モニタリング時に保護者等の意向等を伺うアンケートも実施し、業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			3月に実施の保護者会にて結果を直接配布しお伝えするとともに、ホームページ上でも公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者評価は受診していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部研修、自己研鑽の為の研修、社内研修等の機会は積極的に確保し、研修の成果を職員間で共有しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日の朝礼・昼礼・終礼、週1～2回の支援会議等にて職員間で話し合い、チームで企画立案を徹底しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の多様な経験の機会を確保するため、五領域も踏まえ総合的に提供できるよう取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の朝礼・昼礼を利用し、職員間で必ず打合せを実施しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日の終礼時に振り返りを行い、休みの職員には翌朝の朝礼後に共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			五領域＋自己肯定感・達成感・仲間形成・孤立の防止、以上を毎回網羅しながら、事実を正しく記録することを徹底しています。保護者からの連絡や気付いた点など、事実以外の記載箇所も設け、支援の検証と改善に繋げています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも半年に一回、必要であれば適宜保護者や当該児童にモニタリングを実施し、計画の見直しの必要性等を判断しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			五領域＋自己肯定感・達成感・仲間形成・孤立の防止を総合的に提供し、偏りのない活動を実施しています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			基本的には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		今後、医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、速やかに連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在通所している児童が小学生のみの為、今後必要に応じて実施します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電話やLINEでも保護者と常に気軽に話せる体制を整えており、保護者と共通理解を持って支援にあたっています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に児童発達支援管理責任者が相談に応じ、保護者の悩み等に寄り添い、具体的な助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は3月に全員参加の保護者会を実施予定です。保護者会の日は児童がカフェをオープンし、児童が店員、保護者がお客さま、という設定で親子や保護者同士の交流も積極的に図っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、カプリス通信を発行。毎月の予定表で活動の概要説明などを伝えるとともに、ホームページのブログでは、療育の様子や特性についての話などを随時発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方から教わり、今年のお正月はお餅つき大会を実施しました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に1回は消防署の方に来て頂き、児童も参加する形の避難訓練を実施。その他は職員のみで必要な訓練を実施しています。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人をあげて虐待防止に取り組んでおり、定期的に社内研修を実施、外部研修も積極的に受講しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明し、理解を得ています。計画書にも記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーチェックの記入をお願いしており、医師の指示に基づきアレルギーのあるお子さまのおやつは持参などの配慮を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。